

放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和6年 2月 1日

事業所名： 多機能型事業所てらす

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。(アンケート実施時の契約者に配布し、回収率98%)

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○			個別に訓練したり、療育したりするスペースと静養したり、個人・集団活動したりするスペースをしっかりと分けている。集団の活動では、イベントによって、テーブルやいすを移動するようにしている。	88%	5%	0%	7%	住宅街にあり、子供達の叫び声等、ご近所に迷惑をかかっているか、少し心配です。十分だと思います。一日の入所人数を決めているので、ごちゃごちゃとしていないので良いです。	・令和5年2月より森松に移転をした。騒音に対しては、窓の開閉等によって注意しながら支援していく。 ・国の指定基準を満たしたスペースの確保し、活動スペースとして提供している。
	2 職員の適切な配置	○			パート勤務者の施設相互での移動等で利用人数に対応している。	90%	0%	0%	10%	素晴らしいと思います。配置数については分からない。あまり見ることがないのでわかりません。子供の人数に対して無理のない位で専門職の方も居て良い。	・国の職員配置指定基準を満たした職員数を配置している。外遊びに行く際は、室内の職員、室外に行く職員を確保できている。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○			移転をして新築の建物はバリアフリーとなっている。可能な限り、活動場所と活動内容が一对一対応になるように工夫している。	93%	0%	0%	7%	適切です。宿題をする場所、STをする場所、遊びの場所などわかりやすく分けられている。個人の持ち物を置くスペースがちゃんとあり、ケガもしない様にされている。	・移転後建物がバリアフリーになっている。車いすやバギーを使用している利用者もいるため、多目的に場所を使っている。しかし、利用者の特性によっては、活動場所と活動内容が一对一対応になる方が、分かりやすく、落ち着いて過ごせる方もいるため、可能な限り工夫して対応していく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
	4	○			朝夕の掃除、消毒、換気は徹底してやっている。常に整理整頓に心がけている。車も朝の点検、掃除、消毒に気をつけている。子どもたちにも、来所時の検温、手洗いを行っており、手洗いの難しい子どもには、手指消毒を徹底している。	95%	0%	0%	5%	きめこまやかな分析や評価をしていただけているので、とてもありがたいです。いつも清掃されていて清潔にされている。	継続して、心地よく過ごせるよう活動に合わせた生活空間の確保に努めていく。
業務改善	1	○			月に一度、児童発達・放課後等デイサービスで個別支援会議（ミーティング）を実施している。参加できなかった職員には後日伝え、情報共有を行っている。レクリエーションの反省会も行っている。						継続して、積極的に参画していく。
	2			○	第三者による外部評価は実施していないが、愛媛県からの指導監査を受けている。						継続して、監査指導を基本に業務改善に努めていく。
	3	○			オンラインで研修を受けたり、施設内での研修会などに参加したりしている。						継続して、研修会の参加機会の確保に努めていく。
適切な支援	1	○			保護者の個別支援の希望アンケートや連絡ノートや電話や直接話すことで、ニーズの聞き取りを行い、アセスメントの評価表をつけている。個別支援会議を開催し、話し合っ半年ごとに個別支援目標を立てている。	100%	0%	0%	0%	適切だと思います。子供たちをよく見て、子供に合った支援をしていただけている。子供に合った支援をされていて無理のないサービスをして頂いている。	継続して、計画書を作成しながら支援をしていく。
	2	○			支援内容や目標を全職員が支援会議で考えて作成し、内容は支援会議や終礼などで共有している。	100%	0%	0%	0%	上記同様に子供にあった支援と内容です。	継続して、項目を設定し記載することで情報共有していく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
3 の 提 供	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○			全体としては、個別の活動として、制作を行っている。小集団の活動としてルールのある遊び(カードゲーム等)や調理活動、スポーツ(サーキット等)の活動を計画し、実施した結果を踏まえて個別支援計画を作成している。また、個別のST訓練を行っており、適宜検査を実施することで、各利用者の状況を把握して個別支援計画に反映している。						継続し、計画を作成して支援をしていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供（続き）	4	○			個別支援会議の中で、個別支援計画について検討をし、実際の支援につなげている。	98%	0%	0%	2%	行われています。	継続して、適切な支援を行っていく。
	5	○			前々月にイベント表を作成し発行している。個別にイベントの計画表を作成し、ST訓練と調整しながら、イベントを実施している。実施後は、イベントの反省会も行っている。						継続して、チーム全体で立案していく。
	6	○			過去の計画を見ながら、曜日によって、活動が固定しないように調整している。また、子どもたちの意見も聞きながら、計画を立案している。	95%	3%	0%	2%	活動プログラムの内容がわからないので、よくわかりません。	活動プログラムについては、月間の行事予定でお知らせし、細かいところは連絡ノートや別紙の紙を発行したり、電話や直接お話ししたりして伝達している。引き続き、計画的に子どもたちが楽しく参加できるように配慮していく。
	7	○			休みの日は午前と午後の活動を分けて、時間のかかる制作や調理やお出かけを休日や長期休暇に充てている。						継続して、きめ細やかな支援を行っていく。
	8	○			朝礼、昼礼などのミーティングによって職員全体で意識統一している。アレルギーや食べられないものなどの確認を行っている。						継続して、確認の徹底に努めていく。
	9	○			終礼を行い、日報を作成している。						継続して、情報の共有化に努めていく。
	10	○			日々のカルテに利用者の様子を書くことで、今後の支援に生かしている。また、モニタリングでも相談員に話をする材料にしている。						継続して、記録の徹底、支援の検討・改善に努めていく。
	11	○			支援会議で話し合いをして、月に一度の個別支援計画の進捗のチェックを行っている。						継続して、計画の見直しを実施して支援につなげていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○			児童発達管理責任者、もしくは利用者の担当職員が参加している。						継続して、会議の参画に努めていく。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	○			当施設の中に、「重症心身障がい児・医療的ケア児 たらすアルファ」を6月より立ち上げたので、そちらで対応していく。						関係機関と連携して、連絡体制を整備していく。
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	○			当施設の中に、「重症心身障がい児・医療的ケア児 たらすアルファ」を7月より立ち上げたので、そちらで対応していく。						関係機関と連携して、支援を継続していく。
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	○			直接、送迎の際などに会って話をしたり、電話をしたり、文書にて連絡調整を行っている。(移行支援として、引き継ぎ書を作成したり、電話で当施設での様子をお伝えしたりしている)。						継続して関係機関に対して情報提供していく。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	○			希望があれば、引き継ぎ書を作成している。						継続して関係機関と情報共有していく。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○			以前、児童発達支援センターを利用して、就学後当施設を利用される方などは、引き継ぎ書や検査結果などを頂いたり、支援会議などに参加して今までの様子などを聞いたりしている。研修会へはZOOMなども活用し、積極的に参加している。						継続して研修の受講を促進していく。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供			○	お出かけ等活動プログラムの中で、外部との交流も適宜実施している。	30%	5%	8%	57%	必要性を感じていない。特に希望していない。いまだ入所日数が少ない為、わかりません。	活動プログラムを通して、提供していけるよう検討していく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
	8			○	検討はしているが、行っていない。	/	/	/	/	/	継続して検討していく。
保護者への説明責任・連携支援	1	○			契約の際に説明をしている。急なイベントの変更や利用料については、その都度文書や口頭で伝えている。	100%	0%	0%	0%	説明されました。	継続して丁寧な説明を行っていく。
	2	○			事前相談と書類引き渡し時に詳細な説明は可能な限り行っている。しかし、送迎の方は限られた時間の中で支援計画を説明するため、全てを説明するのは難しい場合もある。	93%	7%	0%	0%	説明されました。	継続して丁寧な説明を行っていく。
	3		○		ペアレント・トレーニングは取り組んでいないが、自宅や学校、当施設で見られた気になる行動などについて話をし、当施設で行った支援など助言ができることがあれば、積極的に話している。	75%	3%	8%	14%	子供が何かを行った時どうするか説明を受けました。	継続して支援を行っていく。
	4	○			連絡ノートや電話連絡、直接など保護者とお話して、助言や支援を行っている。	100%	0%	0%	0%	毎回、丁寧に聞き取りや活動の様子の説明をしていただけている。送迎時その日に何を、何ができたのか説明して頂いています。	継続して共通理解していただけるように徹底していく。
	5	○			連絡ノートや電話連絡、直接など保護者とお話して、助言や支援を行っている。	95%	0%	3%	2%	日数が少ないので、未だわかりません。	継続して適切な対応、必要な助言をしていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	6			○		18%	15%	18%	49%	必要性を感じていない。特に希望していない。未だその様な会は機会がありません。	希望があれば検討するが、保護者が必要性を感じていない状況である。希望者が出てくれば検討していく。
	7	○			要望・苦情があれば、職員間で問題点や原因と結果の因果関係を検討し、必要ならばマニュアルを作り、必ずミーティングなどで職員間でやり方を共有している。対応の方針が固まれば、謝罪して今後の方針を説明している。できるだけ、迅速に対応するよう努めている。	65%	3%	0%	32%	未だその様なことが有りません。	継続して、苦情等のない体制を目指し、あった場合は迅速かつ適切な対応を行っていく。
	8	○			視覚支援(絵カードやホワイトボード、写真等)を用いての情報伝達を行っている。	100%	0%	0%	0%	その日にやった事などの説明をちゃんと伝えてくれています。	継続して、配慮していく。
	9	○			活動の様子等SNS(Facebook)にて投稿している。そして、口頭でも活動の様子を伝えるようにしている。	78%	3%	0%	19%	ホームページのアップはもう少しまめにしてほしい。ホームページ等を見ていませんが、月間行事等はプリントで配布されてして頂いています。	著作権の問題より、投稿されたくない方も居るので、可能な限り発信していく。
	10	○			契約時に個人情報の取り扱いについて説明をし、取り扱いについては管理の徹底に努めている。	100%	0%	0%	0%	されている。	契約時に個人情報の取り扱いについてアンケートを行っている。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルの策定と、職員や 保護者への周知徹底	○			施設の入り口付近に掲示してい る。	90%	0%	0%	10%	説明されました。	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSで避難訓練の様子は発信していく。 ・避難場所は南第二中学校となっている。 ・同建物内の生活介護と就労移行支援と共有の緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル、非常災害対策計画を策定して職員間で共有している。今後、出入り口付近に回覧できる様に掲示していく。 ・看護師が常勤しており、重心の利用者の方がいるため、学校や家庭にて、感染症が発生した際には、電話にて情報収集をしている。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避 難、救出その他必要な訓練の実施	○			施設の定期的な消防訓練に加え、活動プログラムの計画の中に消防訓練を取り入れ行っている。 SNS (Facebook) にて、消防訓練の様子は伝えるようにしている。	73%	5%	0%	22%	行われている。	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが体験できるようにさまざまな曜日で実施していく。 ・契約時に重要事項説明書にて、防災計画を作成し、計画通り実施していることを伝えている。避難訓練は毎年春と秋に実施しているので、できるだけたくさんの方が参加できるように計画、検討していく。
非常時等の 対応	3 虐待を防止するための職員研修機会の確 保等の適切な対応	○			虐待防止に関する研修会を定期的 に開催し、適切な対応を心が けている。						継続して、研修会等を計画して いく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における 組織的な決定と、子どもや保護者に事前 に十分に説明・了解を得た上での児童発 達支援計画又は放課後等デイサービス計 画への記載	○			身体拘束に関しては、基本行わ ないことを説明し、一人で建物か ら外に出してしまう恐れのある利 用者がいるときは出入口の鍵を 閉めさせてもらうことを契約時に 説明している。						継続して、事前説明を行うととも に計画書に記載して周知してい く。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
(続き)	5	○			保護者の話を聞きながら可能な限り除去、代替えなど対応している。	/	/	/	/		継続して、適切な対応をしていく。
	6	○			作成した後は、朝礼や終礼で発表し、職員間で情報共有するとともに、再発防止に努めている。	/	/	/	/		継続して、事例等を作成し、共有し、徹底していく。